



「OJIC(オージック)」とは O:大分県 J:自治人材 I:育成 C:センター の通称です。

## TOPICS

### 研修教材(ビデオ・DVD)貸し出しのお知らせ

OJICでは、マネジメントやコンプライアンス、ハラスメントなど、職務に役立つ知識や技能等を視聴しながら学ぶビデオやDVDの研修教材を貸し出しています。

職場研修にぜひご活用ください。なお、利用方法はOJICホームページをご覧ください。

OJIC HP: <https://ojic.or.jp/>

#### 研修教材(ビデオ・DVD) 利用回数ランキング(令和2年10月時点)

- 第1位 職場のハラスメント 基礎講座 ～セクハラ・パワハラ・マタハラ～
- 第2位 破滅への道程～贈収賄、公金詐取、虚偽有印公文書作成・同行使事件の顛末～
- 第2位 元気な職場をつくるメンタルヘルスケア7(第1巻)「ストレスチェックを活用したセルフケア」
- 第4位 飲酒運転のリスク「飲んだらのれん」
- 第5位 私たちのコンプライアンスIII「知らない」ではすまされない! 社会人の責任
- 第5位 「心が伝わる」ビジネスマナーの基本

## 合同研修

### 地域づくり交流塾

**受講者** 30名(県職員18名、市町村職員12名)

**実施日** 第1回 9月17日(木)～18日(金)・大分県自治人材育成センター  
第2回 10月20日(火) ・臼杵市内  
第3回 11月24日(火)～25日(水)・大分県自治人材育成センター

**講師** 第1回 九州大学大学院統合新領域学府 客員准教授 加留部 貴行 氏  
第2回 臼杵市職員、上浦・深江振興協議会、吉四六さん村グリーンツーリズム研究会他  
第3回 studio - L/慶応義塾大学特別招聘教授 山崎 亮 氏  
(株)吉田ふるさと村 代表取締役 高岡 裕二 氏  
内閣府地方創生推進事務局 参事官補佐 井上 貴至 氏  
(まとめ)九州大学大学院統合新領域学府 客員准教授 加留部 貴行 氏



今年度も地域づくり交流塾(全3回)を実施しました。第1回は、地方創生の時代における自治体職員のあり方やファシリテーションによる場づくりの講義により、住民として、また職員としての共働(協働)の重要性やコツを学びました。

第2回は、臼杵市を訪問し、移住・定住対策や旧学校施設や地域資源を活用した地域づくりなど様々な取組を学びました。

第3回では、全国レベルの著名な講師の方々から、地域づくりの極意、まちのづくりのヒントを学び、未来に向けた第一歩を踏み出すことができました。



受講者の声

- 自身が職員になったときの気持ちを再認識できた。その気持ちを忘れず地域づくりに取り組んでいきたい。
- 今まで気付かなかった新しい住民目線でのまちづくりを知ることができ、とても参考になりました。

# 合同研修

## 地域政策スクール～研究成果発表会～

**受講者** 県職員6名、市町村職員2名 **実施日** 11月13日(金)

**講師** (一社)日本経営協会 専任講師・コンサルタント 細川 甚孝氏  
関東学院大学法学部 地域創生学科 准教授 牧瀬 稔氏



### チーム遠隔医療

研究テーマ「遠隔医療推進に係る政策提言～国東市をモデルケースに考察～」  
東部振興局 主事 清水 識貴  
大分県税事務所豊後大野納税事務所 主事 宇田須 翔太  
日田県税事務所 主事 糸永 恵子  
◆高田高等学校 主事 木村 哲也

### テレワーク班

研究テーマ「5つの「I」で目指すテレワーク先進県」  
人権尊重・部落差別解消推進課 主事 池田 真実子  
◆大分土木事務所 主事 伊東 祐太郎  
大分市環境部環境対策課 主任 濱口 祐多  
佐伯市教育総務課 主任 山本 愛子

◆…チーム長



令和2年度地域政策スクール研究成果発表会を実施しました。今年は上記の研究テーマについて発表し、研究テーマの関係者や受講者の所属の方々、スクール修了生など34名の方にご参加いただきました。また、新しい試みとして、発表会の様子はZOOMを活用しライブでも配信し、12名の方にご参加いただきました。

今年度は、県職員6名、市町村職員2名の計8名が研究に取り組みました。新型コロナウイルスの影響を受け開講が遅れましたが、2名の講師のご指導のもと、限られた時間を有効的に活用し研究を進めてきました。発表会の直前まで発表練習を行うなど、最後まで粘り強く取り組み、両チームとも大変素晴らしい発表をすることができました。この研修を通して得た「経験」や「人脈」等を活かしながら、これからの時代を担う自治体職員として活躍していただきたいと思っております。



受講者の声

- 数値的な根拠にこだわることや、因果関係がうまくつながるように政策を作る作業は非常に参考になった。
- ペルソナ分析、カスタマージャーニー等を利用し、県民目線で考えることの大切さを学べた。

## クリティカルシンキング研修



**受講者** 県職員27名、市町村職員7名 **実施日** 9月29日(火)～30日(水)

**講師** (株)インソース 講師 永淵 貴史氏

クリティカルシンキングとは、直訳すると「批判的思考」ということになりますが、思い込みを排除して、論理的に正しく疑って考えることを指します。日常で当たり前と思っていたことを、疑問を持って考え直すことで、より洗練された新しい見解を見出すことができるようになるというものです。研修では、「パンフレットの在庫切れ」などを例にとり、グループで疑問を出し合いながら理解を深めました。さらに問題の発見や解決策の策定にも取り組んでいきました。



受講者の声

- 具体的な事例を挙げて説明していてわかりやすかった。
- ネーミングがピンとこないので申し込みそびれ選択する機会を逃してしまうのはもったいない。

## デザインシンキング研修



**受講者** 県職員47名、市町村職員19名

**実施日** 【第1組】7月30日(木) 【第2組】7月31日(金)

**講師** (一社)日本経営協会 講師 原 秀治氏

本研修は、真の課題に対する様々な解決策を自由に発想し、ブラッシュアップを繰り返すことで最適な解決法を見出す「デザイン思考法(デザインシンキング)」の基本を学ぶことを目的に今年度から実施しました。

問題解決のプロセスを体験しながら理解を深めるために、個人ワークやグループワークを多く取り入れた研修でした。アイデア出しは、時間をかけずに早く動くことが大切、思考の癖や思い込みを捨てた柔軟な考え方が必要ということを体験できました。



受講者の声

- ユーザー視点というキーワードを大切に、5つのプロセスを何回も繰り返して課題解決の精度を上げていくという手法が新鮮で、実際に体験できたのが良い経験だった。
- グループのアイデア出しなどの時間が多かったので活発に意見交換できた。



# 県職員研修

## 新採用職員（農業等現場体験）研修



**受講者** 令和2年度新採用職員 **実施日** 8月～11月

新採用職員研修を対象に、各振興局単位で“かんしょ”や“オリーブ”等の農作物の収穫、漁協でのアワビの水槽清掃などを行いました。

今年は新型コロナの関係で本研修は8月からスタートしました。暑い時期での慣れない作業ではありましたが、作業を通して、現場主義の重要性を感じることができました。



受講者の声

- 現場で作業することで、住民に寄り添う姿勢や考え方を磨くことは重要であることを改めて感じた。
- 直接農家の方の話を聞くことで、課題や必要なことを感じる事ができたので、今後も現場主義の重要性を大事にして仕事に取り組みたいと思う。



## 採用2年目職員研修（新採用職員（社会人経験者試験等採用者）後期研修）



**受講者** 採用2年目の職員  
及び新採用職員（社会人経験者試験等採用者）181名

**実施日** 共通実施日 10月7日(水)～10月30日(金) 録画配信  
組別実施日 【第1組】10月29日(木)～10月30日(金)  
【第2組】11月12日(木)～11月13日(金)  
【第3組】11月19日(木)～11月20日(金)

本研修は、入庁後の自分を振り返りながら業務に対する意欲の向上や職務志向のために必要な能力や知識を習得することを目的に実施しました。

共通実施日は、感染症対策のため今年は映像配信のみとして実施しました。また、組別実施日では意見交換会と宿泊を中止とし、豊泉荘への通所研修として実施しました。

組別に実施した「政策基礎講座Ⅱ」では、ロジカルシンキングを学び、政策づくり等のワークを通して、自ら考え行動する職員となるための基礎を学ぶことができました。

SWOT分析を使った県の政策ミニコンペを行った際には、様々な視点をとり入れたユニークな政策が多く生まれ、会場は大変盛り上がりました。



受講者の声

- 政策県庁の実現のためには考える力が必要で、そのための具体的な方法を学ぶことができよかった。
- 仕事を進めていく上で、考え方に色々な方法があることを学べてよかった。早速仕事で生かしたい。

## トップマネジメント研修



**受講者** 知事・副知事・部長級・次長級職員及び所属長

**実施日** 令和2年10月2日(金)

**講師** (株)外交政策研究所 代表  
キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹 宮家 邦彦氏

本研修は、自治体経営についての県幹部職員の意識を変革し、視野を広げ、県の将来ビジョン構築に資することを目的として、毎年、著名講師を招聘し開催しています。

今年度は、(株)外交政策研究所 代表 宮家 邦彦氏をお招きし、「コロナで何が変わったか、変わらなかったか～最新の国際情勢と日本に与える影響～」と題してご講演いただきました。新型コロナウイルスの世界的な流行が、社会、経済に大きな変化をもたらしている中、今回の研修では、激しく動く国際情勢と日本の今後の対応等について、具体的な事例を交えながら、わかりやすくお話をいただきました。また、講演後には多くの質問に丁寧にご対応いただきました。

# 市町村職員研修

## 新任課長級研修



**受講者** 新たに課長級に昇任した職員 111名

**実施日** 8月5日(水)、6日(木)、7日(金) 全3組

課長級に昇任した職員を対象に5月に行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により延期となっていました。

今回、日程を短縮し「メンタルヘルス」「管理者の役割」「人権尊重と部落差別問題」の講座で本研修を行いました。

研修生は改めて、課長級職員としての役割を理解し、管理職としての意識と責任を自覚していたようです。



受講者の声

- コンプライアンスの視点に立ち、住民に説明し納得してもらうことが重要だと学んだ。
- 部下の状況に気をつけていたつもりであったが、さらにメンタルについて気配りが必要であると認識した。
- 人権の研修では、実体験に基づいた話であり、とても感動した。

## 新採用職員研修（後期）



**受講者** 新規採用者職員及び令和元年度中途採用者職員 356名

**実施日** 10月7日(水)～9日(金) 3日間 ほか 全4組

新採用職員研修も新型コロナウイルスの影響で4月に実施予定でした前期研修が中止となり、後期のカリキュラムを変更して実施しました。

「ビジネスマナー」「コミュニケーションとメンタルヘルス」「人権尊重と部落差別問題」「仕事の進め方」「公務員倫理」「クレーム対応」の講座を行い、研修生の皆さんは熱心に自分のものにしていました。

また、コロナウイルス対策で市町村間の交流に制限を設けていたため、研修終了後に名刺交換を行い、コロナウイルスが落ち着いたら、改めて再会を約束している研修生の姿もありました。

研修終了後には、ホワイトボードを消しに自ら出てくる研修生もいて、これからの市町村行政を担う頼もしさと明るい未来を感じさせてくれました。



## 県北地区開催研修



### 講座及び実施日

- 簿記・会計研修 I (中津会場) 10月 5日(月)
- 事務処理マニュアル研修 (宇佐会場) 11月25日(水)
- セルフモチベーション向上研修 (宇佐会場) 12月 4日(金)

今年度は上記のとおり県北会場で開催を実施しました。昨年度から県北会場での開催を行っていますが、大変好評です。

来年度も人気の研修を実施予定ですので、OJICが遠く、研修に参加しづらい市町村職員の皆さんは、ぜひ参加してみたいかたがたでしょうか。

## 編集後記

今号は、今年度実施した研修を中心にご紹介しました。

今年は、紹介できなかった研修も含めすべての研修において「新型コロナウイルス対策」のため定期的に換気を行いながらの実施となりました。今後もだんだんと寒さが厳しくなってきますが、研修中の換気は引き続き行ってまいります。研修室の温度管理については、適切に行うよう努めてまいります。座席位置によっては調整が難しい場合もございますので、ご自身でも調整ができるような服装等で研修にご参加いただくようご協力をお願いします。

(事務局)